



いしかわ労福協

第 566 号 2015年 3月25日

発行所 石川県労働者福祉協議会

発行責任者 狩山 久弥

編集人 上野 貞彦

〒920-0024 金沢市西念3丁目3番5号

電話 (076) 231-1737

FAX (076) 231-1731

http://www.ishikawa-rofukukyo.jp

info@ishikawa-rofukukyo.jp

毎月1回 25日発行

地域ライフサポートセンター 2015年度活動に向けて



の支払い、新会計処理ソフト導入に係る取り組みなどについても順次提案説明された。

その後、参加者からの提案事項に係る質疑や要望などに事務局が応答し、新年度の取組方針



河北LSC吉川氏



羽咋LSC上田事務局長



労福協、ライフ・サポートセンターは、3月2日(月)フレンドパーク石川において第11回ライフ・サポートセンター代表者会議を開催した。

初めに狩山久弥労福協理事長が、「設立10年を経過し、『より地域に根ざした活動を展開するほか、労福協事業団体の事業促進に寄与できるよう取り組みの活性化を目指す』として、立ち上げたライフ・サポートセンター活性化委員会の提言を尊重し、次年度の活動方針が織り込まれている。十分に協議して、2015年度の取組に生かしていただきたい。」と挨拶し、続いて「2015年度の活動方針、予算配分・予算」が事務局より提案説明された。

また、役員会などの活動における保障の対応、事業団体活動の支援対応、保障紹介活動費

を全ての地域LSCに伝えることができた。

最後に柚木光副理事長が「国は地方創生として、共助の社会を求めています。共助そのものは良いことだが、基本である公助を無くすような方向にあり如何なものかと考える。このような時代背景から、ライフ・サポートセンターの活動は益々重要なものとなるであろう。活動



小松・能美LSC村田事務局長



小松・能美LSC庭田会長

の活性化に向けて一層の努力をお願いする。」と締めくくり来年度の活動に向けたエールを送り会議を終了した。



柚木副理事長

労福協第7回理事会



石川労福協は、2月24日(火)フレンドパーク石川において第7回理事会を開催した。

冒頭、狩山久弥理事長が、「前回理事会において提起した2015年度事業方針を決定して、新年度の取り組みを確認していきたい、また、これに基づく新年度予算、フレンドパーク石川の中期修繕計画を確認し、今後の運営に係る準備を進めていきたい。」と開会挨拶をした。

昨年暮れの第6回理事会以後における取り組みが報告されたのち、ライフ・サポートセンター活性化委員会からの提言書についても報告するとともに今後の活動に反映していくことを確認した。また、役員からの意見集約を経て決定手続きの案とする2015年度事業方針及びこれに基づく2015年度予算、第54回通常総会開催日程を決定した。

さらに、来年度の事業方針等の決定を受けて、地域ライフ・サポートセンターの活動に反映させるべき第11回ライフ・サポートセンター代表者会議の開催、蘇州市总工会からの招へいを受けての第14次日中友好訪問代表団の派遣について、それぞれ提案・審議され、いずれも提案どおり承認し、新年度の事業展開への準備が更に整うこととなった。

第3回事業団体連絡会議

労福協は、3月25日(水)第3回事業団体連絡会議を連合石川、福祉事業団体の代表者等15名が出席して2015年度自治体要請の取り組みについて総括した。

狩山久弥理事長が、「本年度の取り組みにおいては、各自治体に対し粘り強く、要請事項の実現に向けてお願いしてきた。回答は出揃っていないが、多少の変更はあるにしろほぼ前年並みを確保できるものと思われる。また、長年要望してきた食の安全・安心の確立に向けた条例の制定や中小企業労働者の福利厚生事業への協力が拡大する方向にある。来年度は、更に前進できるよう取り組みたい。」と開会挨拶をし、協議に入った。

会議では、本年度の取り組みにかかる連合石川地方議員団、地元地域LSC関係者等の参加協力状況、本日現在の関係自治体からの予算措置状況や政策要請に対する回答状況が報告され現状を確認した。

また、2016年度に向けた取り組みについて、「連合石川地方議員団の協力は重要であり、更に連携を強くして要請活動に取り組みたい。」と方向を示したうえ、次年度の要請に向けた認識を確認して今年度の連絡会議を締めくくった。

これからの行事予定

(3月25日現在)

開催日	曜日	行 事	会 場
3月25日	水	労福協 第3回事業団体連絡会議	金沢市
3月26日	木	石川県ユニセフ協会 監査	コープ石川古府センター
3月27日	金	労信協 理事会	フレンドパーク石川
〃	〃	第1回メーデー金沢中央大会実行委員会	〃
4月1日	水	第2回メーデー実行委員会	〃
4月17日	金	中部労福協 第5回幹事会	岐阜市
4月22日	水	さわやかU 運営委員会	労済会館
4月27日	月	労福協 2014年度決算監査	フレンドパーク石川
〃	〃	石川県ユニセフ 第2回理事会	地場産本館
5月1日	金	第86回石川県メーデー金沢中央大会	いしかわ四高記念公園
5月8日	金	第3回メーデー実行委員会	金沢市
5月10日	日	勤文協 第47回写真サロン展 受付(9日～)・審査	フレンドパーク石川
5月15日	金	労福協 第1回理事会	〃

ライフ・サポートセンター事務担当者研修会



3月18日(水)フレンドパーク石川においてライフ・サポートセンター事務担当者を対象に研修会を開催した。

これまで、長きに渡り活用してきた会計ソフトの運用がパソコンの基本OSの変更により継続使用が困難な状況となってきたことや公益法人会計の変更により、新たな対応が余儀なくされてきたため新会計ソフトを導入することとなった。今回の研修会は、新会計ソフト導入に関しての講習であり、これまでのものとは勝手の判らぬ操作方法に参加者からは質問が相次ぎ、予定した時間を超過しても十分な理解を頂くまでとは至らなかったが、初めての入り口として先ず触れていただくことが必要であるとして、駆け足のよう研修会となった。

当面、練習用ファイルを活用して操作に慣れてもらうほか、再度の研修機会を提供することで、日々の業務において機能を十分に活用できるよう、担当者各人の努力に大いに期待する。

《協賛行事(予定)》

- 第24回ボウリング大会
4月29日(祝・水)ジャンボボール
- 第49回勤労者ロードレース
5月1日(金)いしかわ四高記念公園～金沢城
- 第15回グラウンドゴルフ大会
5月27日(水)金沢市大和町広場
- 第3回パークゴルフ大会
5月10日(日)小松スカイパーク翼
- 第47回勤労者写真サロン展
5月23日(土)輪島市文化会館から6月28日(日)しいのき迎賓館まで、県内6カ所で巡回展示
- 第21回囲碁・将棋大会
6月6日(土)フレンドパーク
- 第26回ふれあいチャリティーゴルフ大会
6月9日(火)ツインフィールズ
- 節電コンテスト
対象期間8月

メーデー実行委員会

連合石川、労福協、福祉事業団体で構成する第86回石川県メーデー実行委員会は、メーデー開催に向けての会議を3月4日(水)フレンドパーク石川で開催した。

今年のメーデーも、5月1日(金)を軸に開催することを基本とし、加賀地区、小松能美地区、白山野々市地区、羽咋地区、七鹿地区、輪島穴水地区、珠洲能登地区、金沢中央大会の県下8会場でそれぞれ開催することを確認した。

また、実行委員会は、県内各地で開催されるメーデー及び協賛行事などの開催と予算を決定するとともに各地区での開催は連合石川の各地域協議会が主体となり取り組むことが確認された。

メーデー宣言は、連合本部の状況を踏まえ金沢中央大会実行委員会にて最終決定することとし、メーデースローガンについても協議し次回委員会で決定することとした。

今後は、この実行委員会での協議と並行に地区毎に詳細を協議決定し、メーデー開催に向けて取り組むこととなる。

なお、東日本大震災を風化させない、そして被災者の支援として「岩手のまなび希望基金」における募金活動を県下全域で取り組むこととした。

《各地区のメーデー開催予定》

開催地区名	開催日	開催時間	場所
珠洲能登	5月1日(金)	18:00	内浦福祉センター
輪島穴水	5月1日(金)	18:00	門前会館 大集会室
七尾鹿島	5月1日(金)	10:00	七尾市愛宕山 相撲場
羽咋	5月1日(金)	18:00	羽咋すこやか センター
白山野々市	5月1日(金)	10:00	野々市フォルテ
小松能美	4月29日(水)	9:30	小松市公会堂 大ホール
加賀	4月26日(日)	10:00	加賀市中央公園 野外音楽堂
金沢中央	5月1日(金)	9:30	いしかわ四高 記念公園

中部労福協代表者会議



2月26日(木)和歌山市の「ホテルグランビア」において、中部労福協第4回代表者会議が、中部(北陸・東海・近畿)12府県の労福協代表者ら56名の参加で開催された。

高田勝之中部労福協会長が「中央労福協と各地区労福協との連携・情報の共有化などにより、①貧困や多重債務のない社会に向けた取り組み②労働運動、労働者自主福祉運動の連携による共同事業の利用促進や共助拡大などの重点課題を中心に取り組みを行った。また、「生活底上げ・福祉強化キャンペーン」についても実施できた。一方、中部協議会として「理念・歴史。リーダー要請講座」を若手労組役員対象に開催し、福祉事業団体の歴史や取り組みの重要性などについて伝え学ぶことができ、今後も継続的に開催したい。さらに、未だ7万人もの方が不自由な生活を余儀なくされている東日本大震災の復興に繋がる支援を継続していきたい。」などと挨拶した。

続いて、大塚敏夫中央労福協事務局長、小林茂和歌山県労福協会長、西山和歌山県商工観光労働部労働政策参事ら来賓の挨拶の後、議事審議に移り、全提案どおり承認され代表者会議を終えた。

その後の基調講演は、和歌山大学システム工学部環境システム学科の中島敦司教授が「妖怪と自然保護」と題して、「誤解の原因として、①知らない動物②とっさの見間違い③自然現象への知識不足④不都合への忌み⑤宗教観・恐怖感・不安⑥差別・他者への不理解などがあり、これに加えて差別・偏見・争いなど自然や社会への情報不足が、妖怪を産み出している。」と講演し、偏りの無い情報収集と判断する力の大切さを伝え、全日程を締めくくった。

労福協 ライフ・サポートセンター 事務局次長 太田 敏信

中央労福協地方労福協会議



3月9日(月)から10日(火)まで京都市「からすまホテル」で中央労福協2014年度第3回地方労福協会議が開催された。

この会議は、全国の労福協担当役員等が一堂に集い、中央労福協の今後の具体的な取り組みの説明やブロック毎の活動報告と今後の活動に即した課題の研修を行うもの。

山本幸司中央労福協副会長の挨拶の後、大塚敏夫中央労福協事務局長からこれまでの報告と、5ブロック労福協からの活動状況が報告された。

引き続き、大塚事務局長から今後の取り組みについて①重点課題の進め方②ライフサポートセンターアンケート及びヒアリングの結果について③「生活底上げ・福祉強化キャンペーン」の取り組み集約などの課題について説明が行われた。また、今年度の活動計画では特に「貧困の連鎖の解消をめざして」として、奨学金問題を重点課題として位置づけ、高等教育の無償化や給付型奨学金制度の導入をめざし、国民運動を展開していくと提案した。

石川労福協は、昨年も石川県を始め県内全ての自治体に対しての政策要請を実施し、長年石川県に要請してきた「食の安全・安心に関する条例」制定について、今回、条例に制定された。また、金沢市でも9月に制定をめざすこととなった。今後は、貧困対策の推進としての奨学金制度の創設・拡充を今年度も引き続き要請していく予定です。

労福協 専務理事 浅野 正

中部会館協議会

中部会館協議会は、3月11日(水)～12日(木)にかけて、岐阜市内にある会員施設であるワークプラザ岐阜に本年度第3回幹事会を開催した。

11会員中10会員が参加して開かれた幹事会では、3月5日に開催された全国会館協議会(右の記事参照)における決定事項の報告・説明や要請に対する協力が提案された。また、中部会館協議会における会員の事業運営状況を報告して情報交換すると共に、次年度に向けた取り組みを協議検討した。

全国会館協の行う会館運営状況等にかかるアンケートは、今後の利用拡大を期待し各ブロック会館協議会と協力して進めることを確認した。また、2015年度の活動計画を決定するほか、次の定期総会を6月18日(木)～19日(金)に会員会館であるユニオンプラザ福井(福井市内)で役員研修会を合わせて開催することを決定した。

この幹事会の開催日が、奇しくも4年前の東日本大震災の発生日と同日であり、幹事会開催の冒頭に開催地の高田勝之ワークプラザ岐阜理事長や中塚宗浩中部会館協会長が「未曾有の自然災害により、今尚避難を強いられている人々がいる。被災地の復旧・復興はもとより、被災者の支援のためにもこの災害を風化させることがないよう、今後も支援を継続していくことが重要である。」としたことに触れて挨拶をした。

全国会館協幹事会

全国会館協議会は、3月5日(木)～6日(金)松山市「ピュアフル松山」において2014年度第2回幹事会を開催した。幹事会には役員全員が参加し、各ブロックの運営状況や中部労福協関連の報告がされたほか、今後の会員会館の運営にかかる取り組みなどについて提案され、それぞれに質疑が交わされた。

今回は、中央労福協や地方労福協などの関連組織との連携強化を図ることが重要であることを確認するほか、その具体的な取り組みに先んじて、各会館を対象に現状調査のためのアンケートを実施することが確認された。これは、今後の各会館の利用を地方労福協や関連団体へ拡大促進しようとするもので、この先、調査項目の吟味を進め各ブロックと合同で実施することとする。

また、役員において、所属会館における人事に関し、役員退任となる事務局長の後任対応が協議された。この中で、9月に開催する次期総会までは、会長及び当該会館が分担して行うことを確認。

さらに、会員会館のほとんどが対象となる公益法人法にかかる事務処理等の研修会を中央労福協とともに開催することを決定した。なお、中央労福協における現計画では7月10日に大阪で、7月22日に東京でそれぞれ開催することとしていると報告されたのち、今後の幹事会等の開催日程を確認し閉会した。



フレンドパーク石川 入居者募集

所在地：金沢市西念3丁目3番5号石川県勤労者福祉文化会館
(フレンドパーク石川)

構造：鉄骨鉄筋造 7階建て(2000年1月竣工)
場所：5階フロアの一画
広さ：25.5㎡(約7.7坪)(壁芯)
用途：事務所
家賃：75,000円/月(税込、共益費含む)
その他：テナント専用駐車場なし

詳しくは、お問い合わせ下さい。

(076)234-2421

金 沢 L S C

退職者の確定申告をサポート



金沢地域LSCは、昨年に引き続き連合かなざわ地域協議会と連携して年金(雑所得)や医療費控除などの確定申告のお手伝いを行った。

電話での相談や実際の申告書作成のお手伝いは30件となった。

このお手伝いによって、納付申告となった2件のほか、還付申告は21件で合計約805千円となり、払い過ぎていた税金を取り戻すサポートができた。

ライフ・プランセミナー

金沢地域ライフ・サポートセンターは、3月11日(水)労済会館において、連合石川かな



ざわ地協および石川県勤労者互助会と共催して35名の参加により「家計の見直し・マネープラン・資産運用について学ぼう」をテーマにライフプランセミナーを開催した。

高橋昌子講師(暮らしのマネープラン相談センター所長)より、「ライフプランの必要性」「家計の収入・支出の把握」「社会保険・年金・税金」等幅広く説明があり、資産運用では、リターンとリスクを理解しリスクと上手に付き合う方法の説明があった。

講演後、参加者より質問が多くあり関心の高さが伺えた。主催者からは、参加者に後日講師と相談出来る「個別無料相談券」が配布され、より良い生活設計に役立てられることを期待する。

金沢地域LSC 事務局長 今西 十曜治

勤 体 協

第49回県勤労者冬季体育大会

《バスケットボール大会》

2月22日・内灘町総合体育館

◇男子2組 ①NWS②ChopperZ③リガメント

3月1日・金沢中央市民体育館

◇男子3組 ①BOSS②est・montagne③キョウヘイズ

《第11回ソフトバレーボール大会》

3月8日・いしかわ総合スポーツセンター

【フリー】

- ▷ A①森山SVC②ZAIMOKU・B③「2πr」
- ▷ B①MORIMOTO②EASYZ・D③NESS
- ▷ C①金沢EFS・A②Lien③SANAGI
- ▷ D①フレンドリークラブ②小坂SVC③イーストパープルB

【40歳以上】

- ▷ A①伏見台SVC②EASYZ・C③弥生ソフトバレー
- ▷ B①金沢EFS・C②米丸トゥインクル③なじみウィングB
- ▷ C①SVCアトロ②金沢EFS・B③余喜SVC

【50歳以上】

- ▷ A①AIRFORCE②SVC大徳③さいがわ
- ▷ B①加賀組B②なじみウィングA③羽昨SVC無限

【60歳以上】

- ①FIRECROSS②金沢もりやま③カサブランカ

《バドミントン大会》

3月8日・白山市美川スポーツセンター

◇男子

- ①県実業団連合②モルホニックポイズン
- ③コマツクラブ、アサマデックポパイ

◇女子

- ①津幡クラブ②瓢友クラブ③レッツ、勤体協サークル

◇混合

- ①千代野クラブ②バドばわあずX
- ③たんぼぼクラブ、びーち&おに斬り

《卓球大会》

3月15日・金沢市総合体育館

◇硬式男子 ①四十万クラブA②ぬかクラブ③S-55B

◇硬式女子 ①NOTOヤンキース星②档の会A③档の会B

◇ラージ男子

- ▷ シルバー①白山クラブ②ななおクラブ③金沢大浦公民館A
- ▷ ゴールド1組①白山クラブB②金沢大浦公民館A③内灘クラブB
- ▷ ゴールド2組①能美クラブA②小松卓協A③内灘クラブA

◇ラージ女子

- ▷ シルバー①チームかがやき②ななおクラブ③金沢大浦公民館A
- ▷ ゴールド1組①内灘クラブ②七尾スターズ③ななおクラブA
- ▷ ゴールド2組①能美クラブA②白山クラブ③中島クラブ

《バスケット大会》

3月15日・金沢市営中央市民体育館

◇女子2組 ①ルーザス②TNP?③うちゅんき

3月22日・津幡運動公園体育館

◇男子4組 ①ルーザス②CAGERS③マッドキャップ